

プレミアム88(高品質米)への重要ポイント…『穂肥』

高品質米生産のためには、穂肥の適正な施用が重要で、多施用や実肥は、タンパク含量を増加させ、食味低下になることが知られています。しかし、食味を重視するあまり、穂肥を過度に減量し、登熟期に栄養不足となっているコシヒカリも多く、このことが近年の外観品質低下の原因とも考えられています。

適期に適量の穂肥を散布することで、整粒と食味の向上を両立させ、プレミアム88を目指しましょう。

穂肥の施用時期のポイント(コシヒカリの場合)

穂肥施用目的は、①出来ている籾や枝梗の退化を防ぐための籾数確保。②穂となる茎の割合を高めて穂数を増やし、籾を大きく実入り(登熟歩合)を高めるのが目的です。



穂肥施用は品質に大きく左右される大切な作業です。まず田んぼに入り、穂(幼穂)の出来具合を確認してから!!

農作業時の熱中症に注意!!

天気予報と体調をチェック

- ❗ 急に暑くなる日は要注意です。
- ❗ 体調不良時は無理をしないように。

こまめな水分補給と休憩

- ❗ 喉が渇く前に、こまめに水分をとりましょう。
- ❗ こまめに涼しい場所で休憩をしましょう。

涼しい服装・安全な作業環境

- ❗ 帽子で日差しを遮り熱を逃がしやすい服装で。
- ❗ 作業はできる限り2人以上で。暑いハウスの中は風通しよく。

熱中症になってしまったら...

- 1 涼しい場所に避難させる
- 2 衣服を脱がせ、身体を冷やす
- 3 水分を補給する
- 4 自力で水を飲めない、意識がない場合は、直ちに救急隊を要請しましょう

万一の時に備えて、携帯電話を持ち歩きましょう!!

水稲リスク情報

水稲カドミウム・リスク対策技術

湛水管理をしましょう

稲への吸収が活発となる出穂前後各3週間は、カドミウムの吸収抑制技術の「湛水管理」期間です。この技術を実施し、カドミウム吸収を抑制しましょう。

湛水管理の状態

